

マシン油乳剤 スプレーオイル	取扱メーカー： 日農 原体メーカー： —
成分： マシン油……………97.0% その他 PRTR 該当成分： ボリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル（PRTR・1種）…1.0%	性状： 澄明可乳化油状液体 毒性： 普通物 消防法： 第4類・第3石油類（非水溶性）・危険等級Ⅲ

【品目特性】……………

- カイガラムシ、ハダニ類等にきわめて高い効果を示す経済的な薬剤である。
- 天敵に対する悪影響もほとんどない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

〈みかん〉

- ヤノネカイガラムシ、ハダニの併殺を狙う場合は6月中下旬に使用。
- ハダニのみを狙う場合は7月上旬でもよい。

〈茶〉

- クワシロカイガラムシ防除には散布量を多くし、株元まで十分かかるように注意する。
- 5～9月使用の場合、摘採直後の幼虫発生期に散布し、摘採前4週間は使用しない。

〈落葉果樹〉

- 適用通りの使い方でよいが、ムラなく均一に散布する。

〈きゅうり、なす、いちご〉

- ハダニ類に対しては、発生初期に7～10日間隔でくり返し散布する。
- うどんこ病に対しては、病害の発生前～発生初期から7～10日間隔でくり返し散布する。発病後の1回散布では十分な効果は得られない。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 高温時の散布では薬害を生じやすいので散布は日中をさけ朝夕の涼しい時に所定濃度範囲の低濃度で行う。
- 散布直後の降雨は効果を低下させる。特に冬期散布は好天の続く時に散布する。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液などのアルカリ性薬

剤やジチアノン剤、T P N剤など及び銅剤との混用はさける。

●かんきつに使用する場合

- 散布後、葉（特に旧葉）に油浸斑を生じることがあるが、日数の経過に従って消失し、落葉を助長することはない。但し、かんばつ等で樹勢が弱っている場合には散布しない。
- ジチアノン剤との近接散布は果実に薬害を生じるおそれがあるのでさける。
- 3月に散布する時は、なるべく早めに散布する。この場合石灰硫黄合剤は散布はさける。
- ジメトエート剤との混用はヤノネカイガラムシ第1世代防除時期には樹勢により落葉を助長することがあるのでさける。

●桑に使用する場合には、発芽後の散布は薬害を生じるので、冬期又は夏切直後に使用する。

●りんごに使用する場合、芽出し直後の散布は時期を失ないようにする。遅れて散布すると、葉の周囲が褐変する事があるので、使用濃度に注意する。

●きゅうり、なす、いちごに使用する場合

- 幼苗期の散布は薬害を生じるおそれがあるのでさける。また、連続散布する場合の散布間隔は7日以上あける。過度の連用はさける。
- 収穫間近に散布すると、果実にオイル光を生じることがあるので留意する。
- いちごに使用する場合、他剤との混用及び近接散布は薬害が生じやすくなるおそれがあるのでさける。

●適用作物（全般、かんきつ、桑、りんご）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

●甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。

- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。
- 眼に対して弱い刺激性がある。

- 皮膚に対して弱い刺激性がある。
- 共通注意事項6．街路・公園・堤とう等で使用する場合の注意事項を参照。

【適用と使用法】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	マシン油を含む 農薬の総使用回数	
かんきつ	ヤノネカイガラムシ幼虫, その他のカイガラムシ類 ハダニ類	100～200倍	200～ 700 ℓ	4月～10月	－	散布	－	
	サビダニ類	100倍		－				
	ヤノネカイガラムシ, その他のカイガラムシ類 ハダニ類 ハダニ類の越冬卵	50～80倍		12月～3月				
りんご	カイガラムシ類 ハダニ類 ハダニ類の越冬卵	25～50倍		発芽前				
	ハダニ類	50倍		芽出直前直後				
		100倍		展葉期（発芽 後2週間まで）				
200倍		展葉期（発芽 後3週間まで）						
もも ネクタリン	カイガラムシ類 ハダニ類 ハダニ類の越冬卵	25～50倍		発芽前				
なし	カイガラムシ類	30～50倍						
	ハダニ類 ハダニ類の越冬卵 ニセナシサビダニ	30～200倍						
うめ くり すもも		30～50倍						
		50倍						
		20～50倍						
おうとう	カイガラムシ類	100倍						発芽後 2週間まで
		20～50倍						発芽前
		25～50倍						
マンゴー		100倍	10月～3月					
いちご なす	ハダニ類	100～150倍	100～ 300 ℓ	－				
	ハダニ類 うどんこ病	200倍						
茶	クワシロカイガラムシ	100～150倍	1000 ℓ	5月～9月				
		50～100倍		10月～3月				
	ハダニ類	100～150倍	200～ 400 ℓ	5月～9月				
		50～100倍		10月～3月				
すぎ	チャトゲコナジラミ	50倍	200～ 700 ℓ	3月～10月				
さくら	スギマルカイガラムシ	100倍		発芽前				
桑	カイガラムシ類	50倍	100～ 300 ℓ	12月～3月				
	クワシロカイガラムシ	30倍		5月～11月 ふ化幼虫期				
	クワシロカイガラムシ若齢幼虫	60～100倍						